

1972 - 1973 (47年度)

委員会活動方針



鹿児島西ロータークラブ

1972. 7. 6

挨拶

会長 牧田健二

このたび、7月1日より向う1年間 鹿児島西ロータリークラブの会長に推され、不肖の身をかえりみずにお引受け致しましたが、9年余のキャリアを持つロータリアンではありおすものの、かおこの不勉強のため、いまさか戸惑ってある次第であります。

ロータリークラブは、社会に職業に世界に奉仕するために存在するのでありおして、年々世界の会員は増加の一途をたどっております。これだけ私達は奉仕の機会として知り合いを拡めているのです。会長就任に当り、この超我の精神をどのような形で会員の皆様方と共に、実現してゆくべきか、その重大さに会長としての責任を痛感致してあります。

本年度の国際ロータリー会長 ロイ D. ヒックマン 氏のメッセージは、
LET'S TAKE A NEW LOOK!

(もう一度見直そう!)

であります。第373区 東博にかバナーのこのテーマに対する、ご解説を拜聴し、私はクラブをもう一度見直して、そして、行動を起すべき責任を再認識したのであります。惰性をこのまま押し進めるべきではなく、「こんな行き方はどうかね、これこそアイディアだよ、これを生かそうじゃないか。」と、このような活動の進め方をしてみたいと思っております。

しかもこれを「NEW LOOK」だと考えます。ロータリーは、自主性をもってあります。しかし常に検討を加え、冷静に、結論を引き出し、そして静かに行動を起します。はなやかではあるが、案のない思い付きはとりません。

このように考えると、本年度の半ば過ぎには、創立満10周年を迎える当クラブと致しましては、73名の会員を有している現在、何れも会員同志の友愛を深め、古きも新しまも、共に気楽に話し合える和やかな隔りのないクラブにしたいと考えております。そしてこのおぶ、ゆる友愛は、全てのロータリー会員は勿論、地域に知り合いを拡め、奉仕の機会をつくることになると信じています。このクラブの密なる親睦を基盤として、活動されるクラブ奉仕の各委員会の行動は、さぞや目覚ましいものがあるであろうと大いに期待している次第であります。魅力あるプログラムが待っているこんな楽しいクラブを、ぜひ例会には必ず出席して下さい、と思ひ、出席すれば語り場を十分に準備してあるそんなクラブにしたいのです。広報、会報雑誌、ロータリー情報委員会は、ロータリーへの理解を十分に深める資料を逐次報告し、外部理解についても活発に行動して頂きたいと思っております。会員増強、会員選考、職業分類委員会では、良質の会員の増強に努めて頂きたいと思ひます。

職業、社会、国際、並びに、青少年奉仕部門は、職業に

地域社会に国際的 若くは青少年にそれらが求められているデ
マンドではなくニードを的確に理解し、ロータリーの四つの
綱領に準拠して真に生きた活動を展開し、特に青少年
のあり方に問題がある現代社会情勢に深く想いを致し
当クラブがホストとなっている二つのインターアクト また
ロータアクト、並びに ワンダ フェケルに格段の力を盡
したいと考えます。

外部拡大として 加世田・川辺地区に新クラブの結成
を推進いたしてあります。その認証状伝達式の1日
も早からんことを祈念いたしてあります。

いろいろと述べてまいりました。これらは 会員皆様
方の協力添がなくてはできないことで、何卒ご協力の
程 お願い申しあげる次第であります。

以上 会長就任にあたり、いままで所信を披瀝し、ご挨拶
と致します。

挨拶

幹事 浜田 馨

私共のクラブも本年を以て、創立十周年を迎える事となり、会員数も73名を数え、南クラブを凌駕するに至りました。斯かる時に幹事の重任に就く事となりましたが、ロータリー歴も新しい未熟な私如きが、もとよりその容量でもございませぬが、先輩が築かれた我がクラブ独特の伝統を大事に守りながら、大世帯にもなりましたので、特に、会員相互の融和に努め、全力投球を以て、その責を果したいと思っておりますので、何卒宜しく御協力、御指導の程、お願い申し上げます次第でございませぬ。

クラブ奉仕活動方針

副会長 川 村 洋

基本方針

1. クラブ奉仕の各種委員会の仕事と調整監督する。
2. 会員の親密な結合をはかる
3. 例会の改善を通じて出席率の向上をはかる
4. 会員の増強 (10% 8名)

計画

1. クラブ奉仕各種委員長の会議を開催 (クラブ奉仕協議会) (隔日) 1回
2. ロータリー情報プログラム親睦委員会に重点をおく。

3. 内部広報の充実
4. 年度計画表の作成 援助

S.A.A 活動方針

S.A.A. 新福 均

副S.A.A. 古木 圭介

基本方針

1. 例会の雰囲気をもっと明るく楽しくなものとし、クラブ訪問者に良い印象を与える様に座席の配置の工夫をしたり、ロータリーソング以外の歌を選ぶ等努力したい。
2. ニコニコボックスの増収を計る。

計画

1. ニコニコボックスについては、親睦委員会及び会員より情報の提供をお願いし、ニコニコボックスを通じて相互の親睦と理解を深める。
2. 親睦委員長と毎週会談する様努め、例会での親睦の増進の打ち合せをする。

出席委員会活動方針

委員長	久保 政次
委員	田平 礼章
	中村 俊雄
	竹野 良季
	川路 清高

基本方針

本クラブは、設立以来、出席率の優秀な事で知られ、此れが伝統となりつつある。此の輝かしい実績を受けつぎ、100%出席を目標として更に努力を重ねたい。特に本年度は、クラブ設立十周年に当るので長年100%出席者、特に10年連続出席者に対し、その努力を讃えたい。

計 画

1. 連続出席者に対する表彰を従来に引き続き実施する。
2. 上級会合(特に都市連合会、地区大会)への出席を関係各委員会と連絡を取り奨励する。
3. 欠席のかい、会員、及び新入会員に対するP.R.をくり返し、例会欠席者のメイクアップを奨励する。
4. 10年連続出席者に対する表彰として特別バッヂを贈呈する。

会員選考委員会活動方針

委員長 米倉 秀雄
委員 藤 守 辰 造
岩 元 正 二
徳 田 基
徳 留 栄 次

基本方針

会員推薦のあった中からロータリー会員にふさわしい人(各界の代表的な人)、出席が必ずできる人、奉仕の心のある人等検討して選考したい。

計 画

本年度10名位の目標。

会員増強委員会活動方針

委員長 西郷 隆 永
委員 林 享 光
土橋 英 夫
池田 広
水 渕 清 治

基本方針

特に職業分類委員会との連絡を密接にして、未充填職業分類を充填するため適任者を理事会に推薦する。

推薦にあたっては、会員数を考慮の上厳選する。

計画

1. 本年度も昨年同様 年間会員の増加目標を10%
年度末会員数80名とする。(過去8期の会員の平均
増加率は21.0% 平均減少率10.4%)
2. シニアアクラブ会員については、元の職業分類の
未充填の充填に留意する。

職業分類委員会活動方針

委員長	新福栄熊
委員	山口清次
	塘 一郎
	岩田太一
	山本友博

基本方針

1. 当クラブ区域の職業分類調査を行う。
2. 充填及び未充填の職業分類一覧表を作る。
3. 未充填部分については当クラブ全会員に協力を求め
その充填を計る。

計画

- 1) 当クラブ区域内のいろいろな事業所及び専門的職業
を調査すると共に、区域外の事業所についても、その
居住所が当クラブ区域内にある人々の職業分類
についても調査する。

2. 充填及び未充填職業分類一覽表は、クラブ全会員に配布し、未充填部門を十分に認識してもらおう。
3. 未充填部分については、全会員は勿論、特に会員増強委員会、会員選考委員会に全面的協力を求め、各関連職業群に10%以内における充填に努めたい。

プログラム委員会活動方針

委員長	岡元健一郎
委員	河井時義
	高井敏治
	下野隆三
	原田隆造

基本方針

1. ロータリーの例会にふさわしい品位をもったプログラムを編成する。
2. 会員各位が興味を持ち、かつ有益であるように、講師、テーマについて検討する。
3. 会員相互の認識を深める意味で、できるだけ、会員プログラムを盛り込む。

計画

1. 全体的には、例年どおり、ゲスト50%、会員30%

映画その他20%の割合で年間のスケジュールを考えたい。また時節に応じたタイムリーなプログラムを、その都度考えたい。

又、効果的で興味あるプログラム編成のため会員の方々のアドバイス、情報提供をえらめるように努力したい。

広報委員会活動方針

委員長 若松新一
委員 岡山栄
岩元健吉
桜美義明

基本方針

ロータリーの歴史、綱領及び規模、当クラブのプログラム及び各委員会の活動状況について、積極的に、報道関係を通じて伝達し、ロータリークラブに対する認識を持ってもらうための計画を立案し、実行する。

計画

会長、幹事、各委員会と密接な連絡をとり、必要なニュースを伝達する。

親睦委員会活動方針

委員長	池田 稔
委員	徳 沃 紀 生
	原 三 郎
	木 治 屋 克 己
	平 田 武 雄
	内 山 光 男
	和 田 吉 人
	新 原 剛

基本方針

1. 会員数の増加に伴って旧会員と新会員との間にギャップが生じないように特に努力する。
2. 会員同志とその家族を含めての親睦を深める。
また他クラブとの親善の行事を行なう。

計 画

1. 新入会員との融和については新入会員との懇親会(夕食年2回程度)を続ける。
会員の3分間スピーチを行なう。次にS.A.Aと協力して例会の新入会員の席の配置に工夫をこらす。
2. 親睦家族会(年2回)クリスマスには加治木クラブと合同してやるように計画する。
3. ニコニコホックスの収入増加のためS.A.Aに協力して情報活動を活発にする。

4. リエクレーション(ゴルフ、ボウリングなど)
5. 誕生、年始、結婚記念。

ロータリー情報委員会活動方針

委員長	岩元基
委員	光吉正昭
	福田正臣
	桜美四郎

基本方針

1. 新入会員にロータリアンとしての特典義務を理解させる。
2. 会員にロータリーの歴史、綱領及び活動について知識を与える。
3. 会員に国際ロータリーの運営方法について知らせる。

計画

1. 新入会員の個別指導を行なう。
2. ロータリーについての勉強会を行なう。
3. 新入会員を各委員会の炉辺会合に指導する。
4. ロータリー関係の情報を週報に記載して、基本方針の徹底をはかる。
5. ロータリー関係の文献・資料の整備。

会報雑誌委員会活動方針

委員長 鮫島 志芽太
委員 久保田 彦穂
柴山 一雄
佐伯 寿郎
大森 道信

基本方針

ロータリの出来事、プログラム、情報、その他興味ある記事を盛り、また、関係出版物への注意をうながし、

1. 出席を高め、奉仕活動を強化し、クラブ及びロータリアンの自主的な向上、改善に役立つこと。
2. 歴史をつくること。
3. クラブおよび会員、家族、地域社会の連絡、親善に寄与すること。

計画

1. 読みやすく、興味深くするため週報その他の編集を刷新する。(たとえば、会員紹介、会員一言をのせる。)
2. 卓話、卓話者、及び諸計画の予告をもっと大きく扱う。(例会、行事、活動への参加意欲を引き起す。)
3. 理事会、委員会、その他会員の奉仕活動を注意深く扱う。
4. 「ロータリーの友」や「ロータリアニ誌」や地方紙などの関連記事への注意をよびおこし、クラブ活動及び会員活動に寄与できるようにする。

5. クラブ十周年記念誌の発行.

職業奉仕委員会活動方針

委員長 若松 宇治彦
委員 渡辺 匡
安梨 慶一郎
中村 善治
小池 鉄太郎

基本方針

1. ローター会員自ら職業奉仕の精神について研修する。
2. 経営者及び従業員に広く職業奉仕の精神を理解し、実行してもらおうと努める。

計画

1. 職場訪問、見学
2. 優良従業員表彰
3. 「四つのテスト」を会員の職場に配る。
4. 職業奉仕について、例会で講演を聞く。

社会奉仕委員会活動方針

委員長 三角 桂次郎
委員 鍋島 宏
島津 忠丸
福田 敏之
川上 鉄太郎

基本方針

鹿児島市を住みよい都市にする様関係諸団体や当クラブ各委員会と連帯を密にして、その問題点

を研究. その解決策を提言. 援助し. 又周囲の町
村との親睦を計り. 理解を深める.

計画.

1. 交通安全. 火災防止への協力
2. 公害問題解決への協力
3. 心身障害児救済運動
4. ロ-タリ賞の継続.
5. 都市緑化. 美化運動の協力
6. 太陽の子運動への協力
7. 太陽国体の協力
8. 新動物園完成への協力. 援助.
9. 彌島. ハミ地医療への協力. 援助.

青少年奉仕委員会活動方針

(ロー-アクト)	委員長	高義朗
(インター-アクト)	委員	川田恵一
		坂口洋右
		永井利承
		有田郁男

基本方針

ロータリーの活動を通じ. 青少年との交流を計り.
青少年が健全なる成長を祈る. 之を援助
する.

計画

1. インターアクトクラブと緊密に連絡をとり、年度内行事を企画する。
2. ローターアクトの例会に出席して、その希望に沿う企画を援助したい。
3. 青少年の不良化防止について何か考えてみたい。

国際奉仕委員会活動方針

委員長 小園正人
委員 池口恵観
佐伯延次郎
風間 悌次
小山 幸義

基本方針

国際理解と親善及び平和の増進を図るために、当クラブの全会員が、国際奉仕に関心を持って参加できる様に努めたい。

計画

1. 市内3クラブ合同で交換学生を受け入れる。
2. 留学生を例会に招待し、会員との親睦をほかる。
3. インターアクトと留学生、交換学生との交流を計り、親睦と理解を深める。

4. North Dekalb R.C. Georgia との盟約の締結に努力する。

ロータリー-財団委員会活動方針

委員長 池口恵観

基本方針

1. ロータリー-財団活動の趣旨と現状を会員に充分理解してもらおう。
2. クラブの財団寄付金を増加する。
3. ロータリー-財団奨学生を推薦する。

計画

1. 百万ドル食事を年6回にふやす。
2. 財団に関する情報を会員に伝える。
3. 11月のロータリー-財団週間に卓話の依頼をする。
4. 積極的に寄付の促進を考える。

* x 毛 *